

<平成 27 年度>

政策企画部の運営方針

都市戦略室政策企画課
都市戦略室広報課
秘書課
市民相談課
人権政策室

■ 基本情報 ■

<担当事務>

- (1) 市政の総合計画及び調整に関すること。
- (2) 行政評価に関すること。
- (3) 広域行政の推進に係る総合調整に関すること。
- (4) 広報及び報道機関との連絡に関すること。
- (5) 秘書に関すること。
- (6) 広聴及び市民相談に関すること。
- (7) 人権、非核平和及び男女共同参画施策に関すること。

<部の職員数>H27年4月1日現在

正職員	44名
再任用職員	3名
任期付職員	-名
非常勤職員	4名
合計	51名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■ 基本方針 ■

市民満足度を高め、「住みたい・住み続けたいまち」から「市民が誇れるまち」へと飛躍するためには、長期的な視点で市民ニーズを的確に捉えた戦略的な行政運営を行っていくことが必要です。

平成 27 年度は、今後のまちづくりを進める上での最上位計画となる総合計画を策定し、あわせて平成 28 年度から平成 31 年度までの実行計画を策定します。また、総合計画と連携しながら人口減少への対応や移住・定住の促進を図るため、国が進める地方創生の一環として、地方版総合戦略（以下「総合戦略」という。）を策定します。

また、都市ブランドとして掲げる教育文化・健康医療といったまちの魅力や新たに策定する総合戦略に基づく各種取り組みを、市内外に広く効果的に情報発信します。さらに、災害時や緊急時の的確な情報発信にも努めます。

恒久平和の実現やまちづくりにおける一人ひとりの人権の尊重は普遍的に取り組みなければならない課題であり、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝える平和施策や人権啓発を進めるとともに、性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指した事業に取り組みます。



I 重点施策・事業

◆第5次枚方市総合計画・総合戦略の策定

長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的な行政運営を行うため、平成 28 年度を始期とする第 5 次枚方市総合計画を策定します。あわせて、まち・ひと・しごと創生法に基づく本市が講ずべき今後 5 か年の取り組みを定める総合戦略を策定します。さらに、その内容を様々な手法により発信します。

◆広報機能の充実

市ホームページ 庁内における操作研修の実施や新たなデザインページの作成などを実施し、誰にでも見やすく、目的とする情報を探しやすいホームページを目指します。また、平成 27 年度末のケーブルテレビ放送終了を見据え、ホームページでの動画配信の充実を図ります。

広報ひらかた 小・中学生など、若い世代を含めた幅広い世代に読んでもらえる紙面づくり、新たな企画に取り組みます。

情報発信リーダー 情報収集と情報発信力の向上を目指した研修を実施するとともに、積極的な情報発信を働きかけます。

◆市勢要覧の発行

市の特色あるまちづくりや魅力を紹介する冊子として、リニューアル発行します。

◆終戦 70 年平和事業

今年は終戦 70 年になることから、悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを、朗読や人形劇、沖縄戦・原爆に関するパネル展など様々な手法で幅広い世代に伝えます。

◆第 3 次枚方市男女共同参画計画の策定

男女共同参画施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 28 年度を始期とする第 3 次枚方市男女共同参画計画を策定します。

◆DV被害者をつくらない社会づくり

配偶者や恋人からの暴力に悩む市民からの相談件数は年々増加しており、相談内容も多岐にわたるため、関係機関と連携して、一人ひとりの被害者に寄り添った支援に努めます。また、DV を予防、防止する観点から、各種啓発事業や教育委員会と連携した事業を展開するなど、DV被害者をつくらない社会づくりに取り組みます。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取組内容・目標
1. 広報機能の充実	見やすいホームページを目指し新たなデザインページを作成するとともに、ツイッターやフォトニュースを活用した積極的な情報配信を行う。広報ひらかたでは若い世代にも読んでもらえるような紙面づくりを進める。

4. 広聴機能の充実	市民の声を市政に反映する取り組みとして、さまざまな広聴手法を活用して幅広い市民の声を収集し、施策に反映していく。また、IT 媒体を利用した携帯・スマホアンケートについては、より安全な配信手法に変えて実施する。
5. 新たな情報提供サービスの開始	コールセンターの導入に向けて、具体的内容を決定する。
6. 施策評価制度の確立	最終年度となる第 4 次枚方市総合計画の実績評価を行うとともに、第 5 次枚方市総合計画における評価制度の詳細を検討していく。
15. 新総合計画の策定	第 5 次枚方市総合計画の策定に向けて、引き続き取り組みを進める。
16. 施策における「選択と集中」のシステムづくり	第 5 次枚方市総合計画の実効性を高めるため、施策における「選択と集中」が可能となる新たな都市経営システムを構築する。
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の中期的な「経営プラン」が平成 27 年度中に策定されるよう協力する。
30. 都市間連携の充実	市民サービスの向上につながる広域連携の取り組みについて、近隣の自治体との意見交換や先進事例の研究に努める。

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取組内容・目標
学園都市ひらかた推進協議会事務	より多くの市民が参加できる事業内容や、より多くの学生が関わることのできる事業内容を各大学と調整し検討していく。

ケーブルテレビ放送活用事業	ケイ・オプティコムによるケーブルテレビ放送は平成 28 年 3 月で終了する。それに伴い現在共同制作している 20 分の市政情報番組は 9 月放送分で終了し、10 月から 28 年 3 月までは 5 分程度のニュース番組を共同制作して、市ホームページでも同時配信する。
モニタリング事業	市政モニターアンケート、インターネットアンケート、携帯・スマホアンケートなど各手法の特徴等を生かした効率的なアンケートを実施していく。
市民の声運営事務	市政に対する市長への提言はがきやメールなどで寄せられた市民からの意見・要望等に迅速に対応を行っていく。また、市民の声を市政に反映させるため、傾向分析を行う。
DV防止事業	潜在的な被害者の救済につながるような新たな周知方法を検討するとともに、市民への啓発事業を行なう。また、DV を防止する観点から、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもならないための予防教育プログラムを教育委員会と連携して実施する。

＜業務改善運動のテーマ・目標＞

テーマ	取組内容・目標
各事業のマニュアル作成	業務内容についてマニュアル化を進め、効率的な業務の推進を図る。
効率的な業務処理による業務効率の向上	業務効率を向上するため、職場の整理整頓、書類等の適正な管理、仕事の流れや人の動線を考えた書類の収納や机・書庫の配置を行う。また、仕事の優先順位を考え、課員相互の連携を図るよう努める。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成 26 年 3 月に策定した FM ひらかたの「経営改善プログラム」に基づき、FM ひらかたへの放送委託料を平成 26 年度の売上高の 63% となるよう設定し、対前年度比で 274 万円削減しました。
- ◆ケーブルテレビ放送が平成 27 年度末で終了することに伴い、市政情報番組のケイ・オプティコムとの共同制作・放送委託料を見直し、対前年度比で約 143 万円削減しました。
- ◆安定した広告収入の確保（予算ベース）

市政情報モニター	約 126 万円（半期ずつ前払いのため半年分）
バナー広告	約 199 万円
広報ひらかた広告	約 642 万円

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆部内の各職員が情報発信の視点を持ち、日常業務の中で行政内部や外郭団体、市民・企業などから得た多くの情報を効果的な発信につなげるよう努めます。
- ◆「災害対応」「部の運営方針」などのテーマで、部の意見交換会を実施し、部の基本的方針について職員の共通意識を高めます。

Ⅴ 広報・情報発信

- ◆インターネットを通じた情報発信の強化
フォトニュースや写真付きの手動ツイッター、動画配信の充実に取り組みます。
- ◆DV相談窓口の周知
潜在的な被害者の救済にもつながるよう、新たな周知方法を検討し、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の一層の周知に努めます。